

日 時：平成 27 年 9 月 29 日（火）18 時 30 分 ～20 時

場 所：原田農業研修センター

対象地区：原田、岩館

参加人数：9 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○大坊小への通学路について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>町会内で要望が出されてもすぐに市へ要望することはせず、どうしても我慢できないことをお願いしている。県への要望も市への要望もどちらも 3～4 年連続で要望してきた。昨年の町会要望で出した岩館地区構造改善センターの屋根の塗装については今年行うと回答があったが、これも 3 年位要望していた。</p> <p>県への要望は大坊小学校への通学路の関係で、今年で 4 年目となるが、また要望する予定である。先日、市役所担当者から再度要望するか確認され、要望する旨を話し、用地買収もあるので地権者との話し合いをしていると伝えた。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・大坊小学校の通学路は県道なので、引き続き県へ要望する。 <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>多くの町会から要望があるだろうし予算や順番もあると思うが、絶対直してもらわなければ困るので、いずれ直してもらえるよう要望する。</p>
<p>○空き家について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>岩館には 5 軒位空き家がある。今のところは親類や離れたところにいる子どもたちが、お盆の時などに掃除に来ているようだが、どうしても次に来るときまで日にちが空く。</p> <p>家は人が住まないと早くだめになっていくので、有効策もなく、この建物がどうなるのかともったいないような気がしている。何もできないが、その状況が歯がゆい。他の町会でも同じような状況だと思うので、何か対応策はないか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・空き家条例ができたが、その後、国が議員立法で別な法律を作った。そちらの方は特定空き家という危険な空き家に関しては、市よりもかなり罰則が厳しい。・新聞等でご存知のとおり、個人の資産なので勝手に手をかけられない。お盆時期などに関係者が来て管理している所もあれば、全く管理していない空き家もある。・3 年前に町会の協力を得て調査した空き家が 423 軒あるが、情報が古くなっている。市としてはもう一度調査し、使える空き家と使えない空き家を分け、データ管理して不動

産業者に情報提供するなどして、使える空き家は流通できればと思っている。市の条例にも空き家の有効活用が盛り込まれている。調査に費用も日数もかかるので、まずは町会長さんたちからいただいた情報をベースに調査したい。

- ・今まで把握している空き家は 423 軒だが、現在はもっと増えていると思われる。有効活用する方向にもっていきたいので、どこの地域でどれ位使ってもいい空き家があるかを調べようとしている。3月に条例ができたが、職員数を削減している中であって、すべてやることはできず、なかなか進まない。
- ・県内でも空き家は 10 万戸あり、全国では約 1,400 万戸あると言われている困った問題である。新築住宅が増えているが、若い夫婦と親が別々に暮らし、親が亡くなればそこが空き家となっていく。空き家は持ち主が管理、解体しなければならないが、解体費用がかかるため二の足を踏んでいる。市で解体するとなれば、解体費用を回収できない場合、税金が投入されることになるので問題である。

○資源ごみのリサイクルについて

(市民からの要望・質問)

最近、資源ごみのリサイクル率が低い。一時期はペットボトルや缶をリサイクルへ出す量が多かったが、高齢化や様々な事情でリサイクル回収場所へ持っていきえず、身近な集積所へごみとして出している。一番多い時に比べて、現在は半分ほどの量になっている。各家庭においてはどのみち家からなくなるのでさっぱりするが、大きい目で見ると資源としてリサイクルへ出す方がいい。

回収場所へ持っていけない高齢者世帯に対して、町会で何か手助けすればいいという声もあるが、他の家庭も甘えるようになるので、町会でも問題となっている。市役所でいい知恵はないか。

(市の回答)

- ・ごみの減量とリサイクル率向上を目標としている。平成 27 年度の目標としてリサイクル率 25%を目指しているが、残念ながらまだ 16~17%である。ごみの減量化についてはだいぶ減ってきた。びん、缶、ペットボトルの資源ごみをきれいに洗い、決められた日時に決められた場所へ持っていけばリサイクル率が向上する。しかし、高齢になり、なかなか回収場所まで持っていきえず、洗わずごみとして出している。
- ・回収業者もごみをすべてチェックしているわけではない。回収時間に限りがあるので、洗っていないものはごみとして持っていく業者もある。
- ・市としても、できるだけリサイクルへ出してもらうよう指導するし、回収業者に対しても今以上に資源として出せるものは出してほしいと指導していく。子ども会などの集団回収に出せば補助金もでるので、なるべく分別して出してほしい。
- ・本庁、支所でも資源物回収ステーションを開設しているが、車で持ってこられる人にはずいぶん利用されている。
- ・岩館町会内の資源物回収場所は 1 か所だと思う。2 か所に増やすとなれば、町会管理なので手間が増えるという問題がある。高齢者が気軽にもっていける環境づくりについて

は、今後考える。

○コミュニティ育成事業奨励金について

(市民からの要望・質問)

毎年、市からコミュニティの助成金を頂戴している。先日、農林課に集会所の収支決算書を出したが、通夜などは葬儀屋のホールを使うので、収入が入らなくなった。多面的機能支払制度でできた団体から2万円ほど頂戴しているだけというのが現状である。

どこの町会でも同じだとは思いますが、町会内で祭りをやるにしてもコミュニティの助成金だけが頼りである。それがなければ、町会費も値上げできないので八方ふさがりである。次年度からもコミュニティの助成金だけは出してほしい。

(市の回答)

- ・今年、算定方法を少し変えた。世帯割を1戸あたり400円から500円に値上げした。市全体で見ると100万円近く助成金を上げたことになる。住民基本台帳の世帯数と実際の世帯数に差があるので見直し、値上げした。それによりコミュニティ育成奨励金が減ったところもあるが、今年だけは減らさず昨年と同額とした。地域の皆さんに自分たちでできることをやってほしいが、財政的にきびしい町会が多いので、ぜひ活用していただきたい。
- ・今年度、街灯がLED化されれば少しは楽になると思うので、ぜひ活用して町会運営をしてほしい。

○空き地の管理について

(市民からの要望・質問)

近所に空き地がある。住んでいた人が亡くなった後は誰も住んでおらず、親戚の人もその子どもたちもどこにいるのかわからない。

草木が伸び放題でアメリカシロヒトリが湧き、玄関に入ってくる。クルミを狙ってカラスが来ていて、私の庭にクルミの青い実を散らかしていく。クルミはほうきでは掃けず、手で拾うしかない。

以前、アパートで暮らしていた子どもたちがそこを出なければならなくなった際、「2、3日中に持っていく」と言って、家財道具や日用品などをその空き地に運んだ。毛布で覆っていたが、そのまま何年も放置され、風雨にさらされている。

毛虫がひどいので、私の方で梅の木は切ったが、クルミの木が伸びてきている。

(市民からの要望・質問)

空き地の相談はどこにすればいいのか。草が伸びているが、危険なので草刈りもできない。

(市の回答)

- ・総務課と市民課で連携を取っている。まずは所有者を調べ、連絡がつくようであれば連絡をつける。総務課や市民課でも手紙を出して連絡をつけるようにしている。
- ・個人の物なので直接手を出すことはできず、簡単にはいかない。

(市民からの要望・質問)

梅の木を切った際は、親戚の人に事情を話して許可をもらった。

(市の回答)

- ・固定資産税の納付書を送っていると思われるので、所有者の住所がわかるかもしれない。文書を出してもすぐに応じてくれるかはわからないが、まずは連絡先を調べる。
- ・総務課と市民課で話し合い、現場を確認する。
- ・法律ができたので、市役所で情報を整理し、空き家や空き地は所有者に何とかしてくださいと連絡できるようになった。個人の財産なので市役所で勝手に手をつけられないのには変わりないが、あまりにもひどい状態であれば、住民の安全を守るため代執行の可能性も出てきた。しかし、解体費用の問題がある。

○官行造林について

(市民からの要望・質問)

先日、原田の官行造林の入札があったが、金額が低かったのか不落になったと聞いた。町会の財産でもあるので、今後も入札の際は適度な価格設定をしてもらえるよう市からも助言してほしい。

(市の回答)

- ・昨日、津軽森林管理署から入札結果について通知がきた。結果は1回目も再入札でも不落だった。津軽森林管理署でも造林の経費がかかっているので最低限の入札に応じる価格を設定しているはずである。それを超えなければ不落になる。

(市民からの要望・質問)

安い価格であれば負担が増えることになるのではないか。

(市の回答)

- ・財産区の負担はないが、収入は減る。市では最低限価格を設定しておらず、すべて津軽森林管理署で行う。入札額は公開されない。

(市民からの要望・質問)

- ・原田財産区だけ入札が行われたのか。

(市の回答)

- ・全部である。市役所でも国から国有林を借りて造林事業を行っている。入札は津軽森林管理署で行い、例えば市が8割：国が2割というような分収割合で行う。

(市民からの要望・質問)

当初、スギが成長して売ればお金が入るという触れ込みだった。そろそろ売却できる

位に成長しているが、最近は全然お金になる要素がないという悲観的な話を聞く。一体、誰のため何のためかと考える。希望はないのか。

(市の回答)

- ・全くないわけではない。市役所の分収造林でも去年は 2,800 万円、今年は 1,200 万円という収入があった。過去においては入札で不落が続き、いつ木を切られるのか全く不透明な箇所もあった。

(市民からの要望・質問)

市で集会所の建て替えに順番をつけている。町会の負担もあるので、スギが売れた時のお金を集会所建設の財源にあてたいという考えもある。しかし、スギの売値が低いと聞いて困っている。

(市の回答)

- ・貿易自由化で外材が入ってくるようになってから、木材価格が下がった。
- ・かつて青い森農林振興公社の分収造林は、当初の分収割合が県 6 割：地主（財産区など）4 割だった。赤字経営だったため、最終的には県 8 割：財産区 2 割になった。それまで公社で手入れを行っていたので経費がかかっており、赤字経営となっていた。
- ・バイオマス発電事業が始まった。スギの売値が安いので、間伐しなければならないが手入れを行っていないので、その間伐材をバイオチップの会社へ売ることによって手入れを行ってあげれば、残ったスギも大きくなる。間隔を開けなければ細く痩せたスギばかりになる。現状は枝打ちもせず手をかけていないので、山の手入れが進んでいけばと思っている。
- ・官行造林は来月以降も入札が続くので、町会長を通じて連絡をする。

(市民からの要望・質問)

財産区をやめるといっている人がいるが、以前の意識があるので、お金を少しでももらえるとと思っている人がいる。実際は、逆にもらわなければならないような状態である。

(市の回答)

- ・バイオマス発電は年間 72,000 t（1 日 210t）の間伐材を使うので、会社から間伐をさせてもらうお願いをされた財産区もあると聞いた。

(市民からの要望・質問)

以前、町会長たちを集めてそのような話をしていた。その会議の時、道路整備に力を入れるという話をしていた。間伐材を消費する企業と材料となる資源があるので、どちらも生かされるようになればいいと思うが、話を聞くとどうもしっくりこない。

(市の回答)

・20年間、1kwあたり30円と国で保証している。

(市民からの要望・質問)

材料は続くのか。20年間その値段で買い取ってくれるのか。

(市の回答)

・政府と契約しているので、覆らない。太陽光に関してはどんどん下がっているが、バイオマスについては覆らない。

(市民からの要望・質問)

すべて伐採した後、また植えなければならない義務はあるのか。

(市の回答)

・保安林は2年以内に植えなければならない。

○除雪について

(市民からの要望・質問)

家が道路の奥にある。右側に2軒、左側に4軒あるため、除雪の際に2軒ある方へ雪を置いていく。見比べると、倍以上雪が盛り上がっている。出勤前の忙しい時に軽トラ3～4台分の雪があるので大変である。

除雪車が家の前に雪を置いていくのは仕方ないが、あまりにも多いので少しバックしてからもう一度除雪するなどしてほしい。

(市の回答)

・現場確認し、担当課から除雪業者へ連絡させる。

(市民からの要望・質問)

弘前市では、家の前に雪をあまりおいていかない除雪車があると聞いた。

(市の回答)

・シャッターを下ろすなど工夫をこらしたものと聞いた。

・高齢化が進む中で除雪の問題があるが、解決策がなかなかない。融雪溝を入れられればいいが、水源、流末の確保と地域の人々の協力も必要である。

○交差点の信号設置

(市民からの要望・質問)

原田の集会所前の交差点は、大坊方面から来た時に見えづらい。特に夕方は見えづらい。バイパスの信号と距離が近いが、信号をつけるにあたって、どこに決定権があるのか。

(市の回答)

・警察である。警察で交通量や他の信号との間隔を見る。県警も予算がないので、かなり選んでいるようだ。

(市民からの要望・質問)

移設なども踏まえて何か対策をお願いできないか。夕方は暗いので、対向車が止まっているのか進入しているのかわからない時がある。幸い、今の所大きな事故はないが、いつもそう思っている。

(市の回答)

・バイパスの信号と距離が近いので難しいが、要望があったことは伝える。

○道路の低い箇所

(市民からの要望・質問)

原田村元の道路だが、雨が降ると低い所に水が溜まる。穴埋めや舗装をしてほしい。50mもないような短い距離である。道路が下がっているので水が溜まる。

(市の回答)

・現場を確認し、テンプラ舗装でもできるのか検討する。

○昨年のまちづくり懇談会

(市民からの要望・質問)

去年のまちづくり懇談会で、側溝に流れてきたごみについて相談したら、次の日すぐに側溝の蓋を開けて対応してもらった。大変ありがたかった。